

健常人における腎機能低下早期発見のためのマーカー探索

1. 研究の対象

2022 年 6 月 13 日～2023 年 7 月 9 日に実施された金ヶ崎町の国保特定健診参加者のうち本研究に同意いただけた方とします。

2. 研究期間

当初研究実施許可後～2025 年 7 月 31 日までであったが 2029 年 3 月 31 日まで延長した

3. 研究目的・方法

慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease:CKD)の発症および悪化の評価に尿中アルブミン値や血清クレアチニン値が用いられるが、CKD を早期に予期するマーカーの確立はなされていません。

腸内細菌由来腐敗産物の 1 つであるインドキシル硫酸(Indoxyl sulfate:IS)は腎不全促進因子として知られています。また IS を低下させ CKD の進行を抑制する目的で経口吸着炭素製剤が投与されます。健常人において IS を測定した報告は少なく、腎機能正常者の動態は明らかにされていないのが現状です。そこで今回、大規模に IS 測定を行うことにより、腎機能正常者の基準値を設定するとともに、CKD の早期発見につながるマーカーとなりうるかに関して検討を行います。

以上 2022 年の健診結果から、腎機能正常者においてインドキシル硫酸は年齢が高くなるにつれ上昇すること、排便頻度が少ないほど高くなること、腎機能正常者においても腎機能の低下と関連があることが示されました。これらの結果をもとに CKD の早期発見につながるマーカーとなりうるかに関して更なる検討を行うために研究期間を 2029 年 3 月 31 日まで延長します。

4. 研究に用いる試料・情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧(収縮期/拡張期)、喫煙歴、飲酒歴、糖尿病の有無、高血圧症の有無、運動習慣の有無、心疾患の有無、食習慣(野菜・果物の摂取)、便通状態、HbA1c、血清アルブミン値、血清クレアチニン値、推算糸球体濾過値、尿中アルブミン値、尿中クレアチニン値、尿中アルブミン・クレアチニン比、尿中尿素窒素値、推定1日蛋白摂取量、尿中ナトリウム値、推定1日塩分摂取量、血清IS値

5. 外部への試料・情報の提供

本研究実施に際し各施設で収集及び研究用 ID を付して加工したデータは岩手医科大学附属病院に集められます。集められたデータは泌尿器科学講座の鍵のある引き出しに厳重に管理いたします。

6. 研究組織

主任研究者

泌尿器科学講座 教授 阿部 貴弥

分担研究者

泌尿器科学講座 助教 井藤 綾人

泌尿器科学講座 大学院生 久野 瑞貴

共同研究機関

金ヶ崎町国民健康保険金ヶ崎診療所 所長 阿部 俊和

公益財団法人岩手県予防医学協会 専務 武内 健一

試薬提供機関

NIPRO 株式会社 吉村 昌也

7. 研究費および利益相反

研究費は岩手医科大学泌尿器科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。岩手医科大学以外の共同研究機関でも参加拒否のお申し出やお問い合わせにも対応いたしますのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-613-7111（医局内線：6551）

岩手医科大学 泌尿器科学講座 久野 瑞貴

研究責任者：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-613-7111（医局内線：6551）

岩手医科大学 泌尿器科学講座 阿部 貴弥

-----以上